



2001年04月05日

**フォルクスワーゲン 3月度及び2000年度実績
単月及び年度の販売台数が過去最高を記録**

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(略称:V G J、代表取締役:梅野 勉、本社:愛知県豊橋市)がまとめた登録台数によると、2001年3月のフォルクスワーゲン ブランドの登録台数は、対前年比8%増の8,890台で、フォルクスワーゲン及び輸入車ブランドとして、単月の登録台数が過去最高台数を記録すると共に、3ヶ月連続で同社の過去最高を記録しました。従来の最高は、消費税率引き上げ(3%から5%へ)前の需要拡大時期であった1997年3月の8,436台。

また、2000年度(2000年4月～2001年3月)の結果も、対前年比21%増の61,007台と、前年同期の50,451台を大幅に上回り、輸入車における過去最高を記録しました。その結果純輸入車のマーケットシェアも、前年を3.8ポイント上回る24.3%を記録しました。

3月度の好調な要因としては、2000年2月にフルモデルチェンジを行ったゴルフ ワゴンや、同年5月に発表した新型ポロがそれぞれ昨年を大幅に上回る販売を記録すると共に、本年2月に1,000台限定で投入した、ゴルフ累計生産2000万台記念特別仕様車“Golf ZM Edition”や、250台限定のゴルフ カブリオレ“カラーコンセプト”の販売が好調な点が上げられます。販売施策面でも昨年末から行っているブランドキャンペーン広告による一般消費者へのブランド認知向上、更に年初から継続している全国的なフェアの実施等積極的な販売活動が功を奏しました。

2000年度(2000年4月～2001年3月)の好調な要因としては、1999年9月に新規導入したニュービートルや、1999年10月と2000年2月にそれぞれ導入を行ったボーラとゴルフ ワゴン、更に2000年5月に発表した新型ポロがそれぞれ昨年を大幅に上回る好調な売れ行きを果たしたことを上げることが出来ます。

フォルクスワーゲンでは、2001年度も引き続き魅力的な新規モデルの導入によってモデルレンジの充実を図ることにより、2年連続での輸入車年間登録台数No.1を目指します。